

石巻管内社会福祉施設等COVID-19感染対策研修 質問と回答

質問	回答
<p>(1)職員又は入居者に感染者が出た場合の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への対応 ・スタッフの待機場所 	<p>(1)の回答：当研の内容でも触れますが,詳細については以下の内容をご参照ください。</p> <p>〈陽性者が発生した場合の主な対応の流れ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>管理者への報告→所内での情報共有→今後の方針確認 <input type="checkbox"/>本人への説明・家族への連絡 <input type="checkbox"/>居室及び共有スペース等の消毒・清掃(業者又は自前) <input type="checkbox"/>職員のシフト調整,応援態勢の検討 <p>→職員が濃厚接触者となった場合は,検査や健康観察が必要となるため,別の職員が対応する又は応援職員の手配について所内の検討が必要</p> <p>→担当職員を可能な限り固定して対応する(当該利用者と他の利用者の担当者と重ならないようにする)</p> <p>→職員の中で持病又は妊婦等は,感染した場合に重篤化する可能性があるため,勤務上の配慮を行う</p>

〈その他対応上の注意点〉

- 濃厚接触者が部屋を出る場合はマスク着用及び手洗い・アルコール消毒を徹底する
- 当該利用者のケアを行う場合は,空気の流れを意識した上で部屋の換気を1時間毎に5~10分行う(共有スペースや他の部屋も窓を開け,換気を行う)
- ケアに入る職員は使い捨て手袋とマスクを着用する
→患者に咳嗽がみられる場合は,必要に応じてゴーグルや使い捨てエプロン,ガウン等を着用する

〈部屋の確保について〉

- 大部屋と個室,最低2部屋を確保する(濃厚接触者用,疑いが強いケースの一時的な待機場所として使用する)
→職員用の仮眠室や事務作業ができるスペースの確保も検討する
→個室が不足している場合は,無症状の濃厚接触者と同室とし,濃厚接触者にマスク着用を求め,ベッド間隔を2m以上あける,ベッド間をカーテンで仕切る等対応する
→区域を区別できるよう,衝立やテープ等を利用し,誰がみてもわかるように工夫をする

〈参考〉

- ・日本老年医学会, 老人保健施設協会「介護老人保健施設における新型コロナウイルス感染症対応ガイド」
- ・宮城県「通所サービス事業所のための新型コロナウイルス感染症対応の手引き」
- ・岐阜県「高齢者・障がい者入所系施設新型コロナウイルス感染症発生時対応マニュアル」

<p>(2)入居者が陽性になった場合の初期対応について</p>	<p>(2)の回答：研修内容で説明しています。詳細については、下記通知等の中で、内容が示されているため、ご参照ください。</p> <p>〈参考〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本老年医学会,老人保健施設協会「介護老人保健施設における新型コロナウイルス感染症対応ガイド」 ・4/7発行の介護保険最新情報vol.808
<p>(3)感染した利用者の情報で施設が把握しておくべき内容を知りたい</p>	<p>(3)の回答：詳細については研修内容で説明しています。</p>
<p>(4)防護具等の医療物品の供給について(行政からの供給)</p>	<p>(4)の回答：感染防止のための物品については、これまでも手指消毒用エタノールや使い捨てマスクについて、生産者側からの確保を最大限図りながら供給に努めてまいりましたが、今後は防護具等についても同様の供給に向け、検討の予定です。</p> <p>〈参考〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本老年医学会,老人保健施設協会「介護老人保健施設における新型コロナウイルス感染症対応ガイド」のP3（物品確保の目安等についても記載） ・日本看護協会より「看護管理者の皆様へー新型コロナウイルス感染症への対応ーver.2」P7 ・4/15に厚生労働省発行の介護保険最新情報vol.819「サージカルマスク,長袖ガウン,ゴーグル及びフェイスシールドの例外的取扱いについて」 ・公益社団法人全国老人福祉施設協会ホームページより,感染防護用品がない場合の臨時代替手段について,参考リーフレットが示されています。

<p>(5)県内のPCR検査体制がどのようになっているのか知りたい</p>	<p>(5)の回答：宮城県のPCR検査実施状況については、下記ホームページにおいて日々更新されておりますので、ご参照願います。 https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/05.html</p>
<p>(6)家族の外出について ・利用者や家族から外出についての相談が増えているが、外出についてどのように判断したらよいか。</p>	<p>(6)の回答：家族に施設等から伝えられる内容として、現段階で不要不急の外出や3密の環境下には極力行かないよう、協力を仰ぐという部分は引き続き説明いただきたい部分です。 ・「外出の判断」という部分について、例えば人口が多い都市や陽性者の発生が多くみられる地域へ出入りした家族については、移動状況やその後の体調について、注意深く確認する必要があると思われまます。 ・家族からの聞き取りを受けて、施設等でどのような対応をするかについては、所内でご検討ください。</p>
<p>(7)利用者の送迎車について ・利用者の特性上、車内換気や消毒以外の対応が難しく、分散登園も難しい場合、何か良い対応策があれば知りたい。(利用者の半分以上はマスク着用も難しい)</p>	<p>(7)の回答 〈職員の対策〉 <input type="checkbox"/>日々の体調管理と確認の徹底 <input type="checkbox"/>可能な限り距離をとる <input type="checkbox"/>マスク着用、換気の徹底、持ち運び可能なアルコール消毒液を準備し、介助の際に唾液や高頻度接触面に触れた場合にすぐに消毒ができるよう備える <input type="checkbox"/>突然の嘔吐や失禁等があった場合に備え、物品一式をセットしたものを車内に備えておく →使い捨て手袋・エプロン、マスク、ゴミ袋数枚、拭きとり用のペーパー数枚、フェイスシールド又はゴーグル等 <input type="checkbox"/>利用者のマスク着用が難しければ、飛沫感染を防ぐため、フェイスシールドやゴーグルを必要時着用する(物品が不足していれば代替品でも可)</p>

	<p><input type="checkbox"/>マスク装着が可能な利用者には装着を促す</p> <p><input type="checkbox"/>後部座席から運転者への飛沫飛散を防ぐため,運転席と後部座席の間をビニールカーテン等で仕切る</p> <p>〈利用者の対策〉</p> <ul style="list-style-type: none">・発熱だけではなく,咳嗽や鼻汁等の症状がある場合は,利用を断る(家族からの協力も得る)・可能な限りマスク着用を徹底する <p>〈参考〉</p> <ul style="list-style-type: none">・4/7発行の介護保険最新情報vol.808・広島県「通所サービスにおける新型コロナウイルス感染症対策」
--	--